

第13回中海会議【概要】

日時 令和4年8月17日(水) 14:00~15:25
場所 米子ワシントンホテルプラザ らんの間
WEBを併用したハイブリッド開催

中海湖岸堤等整備に係る調整会議(説明:国土交通省出雲河川事務所長)

【意見等】

■鳥取県知事

最近心配なのは、中海の水位が上がっていることで、幹事会なりでさらに研究を深めていただきたい。諸条件も変わりつつある中で安全を確保しなければならない。早い段階での整備が必要なところを中心に、前倒して工事の進捗を図ることが重要だと考える。

■松江市長

優先的な取組が必要な短期の整備箇所について整備を完了していただき、市民の安心安全が確保できたことにお礼を申し上げる。令和2年9月の台風により浸水被害が発生した箇所について、優先順位を繰り上げて工事着手していただいております。早期完成に向けて引き続きご尽力をいただきたい。大海崎地区について、中海の湖岸堤整備に合わせ、松江市として内水対策のための河川改修を始めており、今後緊密に連携を図らせていただきながら進めて参りたい。

■米子市長

内水対策が非常に急務でしっかりやらなければいけない。地元として消防団活動、ちょっとした堤防の切れ目の補修などは対応していきたい。しっかりと湖岸堤整備をして、内水対策をしていくのが、防災対策の基本になる一方、高潮が頻発化しており、地元消防団も待機がよくある。消防団は日頃仕事を持ちながら対応してくださる方であり、もう一段次のステップでソフト対策を考え、しっかり対応できる体制を地元でも考えないといけない。冒頭、平井知事から発言ございました高潮、水位上昇がどういふものか、研究を引き続きお願いしたい。

■鳥取県知事

令和2年9月の9号台風については、やはり水位が高くなってきていることも影響している可能性があり、昨晚もそうだが、水位上昇が常態化しているように思う。ぜひメカニズムの解明を進めていただきたいと中海会議としても改めて申し上げ、また事務的にも色々折衝させていただければと思う。

■境港市長

残りの短中期と中期整備箇所についても早い完成を望む。

昨年7月12日には境港市の観測史上最大の時間雨量80.5mmを記録した。内水対策にいち早くかからないといけないため、雨水管理総合計画に今年度から着手をしている。また、この計画策定を待たず、浸水被害の大きかった外江地区において雨水幹線等の整備に着手している。引き続き国土交通省並びに中国地方整備局にはしっかりと支援をいただきたい。

河川整備計画の中で境水道部分の外江地区については、市の内水計画が整ったら、整備することになっており、引き続き市と国で調整しながら整備していきたいと思うので、よろしくをお願いしたい。

■安来市長

私どもでは大部分の湖岸堤に面しているのは農地であり、中海の水位が高くなると内水が捌けない状況となり、農地に塩も入り、非常に被害がでる。我々がやるべきこと、国交省の方でやっていただくことを、ご指導いただければと思っている。

中海の水質及び流動会議（説明：鳥取県水環境保全課長）

【意見等】

■米子市長

米子湾に注ぐ加茂川河口近くでシジミが取れたという報告を地元の方から受け、実際に採れたシジミを見て、立派なシジミが生息していることがわかった。断続的に中海の浄化が進んでいる一つの効果だと思う。ここまでくると、さらにその先の浄化というのはハードルが上がるが、浄化による効果は少し遅れてではあるが出てきていると皆様に報告できる。

説明のあった覆砂は、なかなか方法がない中で有効との話もあり、しっかり計画通りしていただきたい。併せて、さらなる覆砂も含め、今後の浄化対策の検討にあたっては、これまでやってきた中の効果のある話をさらに伸ばしていただきたい。最後のファインバブルも着けた成果は良くわかったが、どれだけ設置し、流れを作るのか判断しにくく、引き続き研究、検討を一緒に進めさせていただきたい。

■境港市長

浅場造成と覆砂の報告の中で、あさりの個体が増えたり、コアマモの生育が見られたとか、漁業資源の回復であったり、海藻類の生育に効果あるというようなどころがある。かつては中海で魚が大きくなり、境水道を通して外海に来たものである。ぜひ浅場造成、覆砂、引き続きしっかりとやっていただきたい。脱炭素を目指す我々とするれば、ゼロカーボンの観点からも海藻類は大事だと思っている。

■安来市長

有機JAS認証米を今10ヘクタールほど作っている。約20年前から圃場整備により法人が活動、農薬、化学肥料を使わず、窒素リン酸等、流入負荷を軽減する取組をしている。また、学校プールでは普通、夏に向けて塩素等々で消毒するが、安来市では有用微生物を夏のシーズン終了後に投入し、河川に流す取組を長く行っている。こうした取組を評価することで、流入負荷も抑えていけると思っている。

安来市では約800ヘクタールの圃場を整備いただき、その中で法人化経営により様々な取組ができています。個人も大事だが法人化した農業では、流入負荷対策が色々できると思う。

中海の漁業組合ではサルボウ貝を養殖する取組を行っており、中海の水質浄化について一生懸命取り組んでおり、また国からもご指導いただきたい。

■中国地方整備局長

冒頭、平井知事から話があった少し水位が上がってきているのではという新しい課題も皆様から指摘いただいた。皆様の協力をいただき調査等させていただきながら、できる限りの対応させていただきたい。

■鳥取県知事

水質についても、全リン、全窒素は昨年度目標達成したが、CODは米子湾で課題が残されており、十分に研究を深めながらやっていかなければならない。

中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ（説明省略）

【意見等】

■米子市長

課題として、かさ上げ土の調達なかなか難しいところがある。担い手農家からすれば、今までの農地とできるだけ同じ土でやらないと、生育する農作物、種類や成長過程等の経験が改めて必要になる。弓浜エリアで出てきた残土等でやりたいという課題をお持ちだということをご共有させていただきたい。

■鳥取県知事

農地については客土の問題があり、国交省、農水省、両県でも色々情報があろうかと思う。今後もよく調整をお願い申し上げたい。

中海の利活用に関するワーキンググループ（説明省略）

【意見等】

■米子市長

サイクリングについて報告申し上げたい。1つは、ハード整備として走りやすいコースを沿岸自治体で少しずつでも進めていくことが必要ではないか。もう1つはソフト対策として、観光客でも今走っている地点、目標までの距離、或いは休憩所があるか、休憩所に自動販売機はあるかなどが分かりやすいコースということで進捗を進めていきたい。

■松江市長

水産振興と水質の関係性については昨年度、松江市からの提案を受け、各関係機関のデータを集約していただいたものと理解しており感謝申し上げます。水質と漁獲量の変化、漁場毎の傾向、未利用魚種の状況等にも触れていただき、中海の水産資源の現状を認識することができた。引き続き、こういった分析や検討を進めていただき、現状の課題、対応策について、この中海会議に報告いただきたい。

■境港市長

中海の魚介類の資料を付けていただき感謝申し上げます。中海7珍、例えば米子の飲食店等でも料理を出しておられる。しっかり、水産資源の回復をしながら、こういう水産資源を情報発信もしていきたい。

■安来市長

中海・宍道湖一斉清掃では毎年お世話になっている。ごみの集積は殆どが米子湾から安来の干拓地辺りに入ってくることもあり、こういう連携の取組は重要なものと思っている。

また、安来市としては中海の水質が良くなったことは当然だが、干拓地を有効に色々なことに使っていただきたいと思っている。今、よなごベイウォーターフロント検討会も開催されており、我々の持つ強みを生かしていき。

■鳥取県知事

サイクリングについては両県、中国地方で振興を図っており、コース整備、マップ、利便施設等、今後も展開をしていきたい。ワーキンググループでも議論いただき、反映を進めていきたい。国道用地などもあるので、国交省もご理解、ご支援をいただきたい。

水産振興については、去年大きな議論があり、今回国交省からも分析結果等を出していただいた。分析・対策について、水産関係の両県の協議会もあり、一層、議論の促進を図り、ワーキングでも改めて議論してもらいたいという話があった。今後もフォローアップを事務局にお願い申し上げたい。

中海・宍道湖圏域の一斉清掃も協力してやっていく地域の事業である。

干拓地の利活用についても国交省等、アイデアがあればいただきたい。